

# 令和2年度 第3回伊賀市大山田財産区管理会 会議録（概要）

日 時：令和3年2月3日（水）13:30～14:30

場 所：大山田農村環境改善センター 2階大会議室

出席者：（管理委員）馬岡委員、中澤委員、松裏委員、山口委員、井上委員、西尾委員

（管理人） 森下管理人

（事務局） 狩野支所長、奥井課長、藤森副参事

欠席者：（管理委員）廣島委員

## 財産区管理会 議事録（概要）

課長	<p>まだお見えのない方もおられますが、定刻を過ぎましたので、ただいまから令和2年度第3回伊賀市大山田財産区管理会を開催させていただきます。進行を務めさせていただきます振興課の奥井です。どうぞ宜しくお願いします。管理会は年3回開催していただきまして、今年度は第1回を7月に、第2回を10月に開催しました。今回が今年度の最終回となりますが、本日の管理会は、新しい委員さんでの最初の管理会となります。大変遅くなりましたが、委員さんのお手元の封筒の中に、令和2年12月27日から令和6年12月26日までお世話になります、選任辞令を置かせていただいております。4年間宜しくお願いいたします。尚、本日の管理会には、活動報告をいただくため、管理人を代表して森下管理人さんにもご出席いただいております。</p> <p>それでは、会議次第の2. 支所長挨拶ということで狩野支所長宜しくお願いします。</p>
支所長	<p>失礼いたします。大山田支所の狩野です。平素は、伊賀市行政とりわけ、財産区の事業に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年は、124年ぶりに今日が立春ということで、寒い日が続いていますが、3月下旬の気温になることもあり、徐々に春の気配が近づいている様子です。ところが、昨年から皆さんご承知のとおり、新型コロナウイルスの感染症で、2度の緊急事態宣言が発出され、全世界までウイルスが蔓延される事態となりました。当財産区としても、昨年度に続きまして、2年連続してチェーンソー講習会を中止せざるを得なくなり、非常に残念な結果となりました。ようやく、ワクチンが開発され、国民への接種に向けた準備を始めたところです。副反応が心配される場所ですが、順次接種をすすめて、収束に向かってくれることを願うばかりです。さて、本日は、第3回の大山田財産区管理会ということで、お忙しい中、ご出席いただきまして有難うございます。平素は、管理会委員の皆様方には、財産区山林の管理等に関しまして大変お世話等をおかけしており、併せてお礼を申し上げます。今も案内がありましたとおり、昨年の年末に管理会委員の任期が切れまして、本日は市議会の承認をいただいた新しい委員さんによる初めての管理会ということで、委員さん方には4年間お世話になりますが、どうぞ宜しくお願いいたします。今回は、事項書にありますように、報告事項として、新しい管理委員さんもおられますので、財産区の概要の説明と、その後で管理人さんから活動報告をいただき、その後で協議事項としまして、令和2年度補正予算の決算見込みについてご協議いただきたいと思いますので、忌憚のないご意見等をいただきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。</p>

事務局	有難うございました。次に自己紹介に入らせていただきますが、その前に資料の確認をお願いします。(資料を説明) 資料はありますでしょうか？
委員 管理人	はい
課長	それでは、会議次第3の自己紹介ですが、お手元の資料1の2ページに管理会委員さんと管理人さんの名簿を付けさせていただいております。資料2の名簿順によりご紹介いただきたいと思いますので、宜しくお願いします。
全員	(それぞれ自己紹介)
課長	有難うございました。 次に会議次第4の会長、副会長の選任ですが、管理会条例第5条で委員の互選により定めるとなっていますが、いかが取りはからいましょうか。
委員	何か事務局案はありますか。
課長	特にご意見などないようでしたら、事務局よりご提案させていただきます。前回は再任された委員さんが既にご経験いただいているということで、会長と副会長に選任していただきました。今回、再任された方は馬岡さん、中澤さんの2名ということで、会長に馬岡さん、副会長に中澤さんをお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし
課長	馬岡さん、中澤さんご了承いただけますか。
馬岡委員 中澤委員	はい
課長	それでは、お決めいただいた結果、会長には馬岡さんを、副会長には中澤さんということでお願いいたします。新しく会長と副会長になられた2名の方から一言ご挨拶をいただきたいと思います。
馬岡会長 中澤副会長	(それぞれ挨拶)
課長	有難うございました。続きまして、会議次第5の会議録署名委員の指名に移らせて頂きます。議事の進行につきましては、伊賀市大山田財産区管理会条例第5条第2項に、会長は管理会の会議を主宰し、とありますので、この後の議事は馬岡会長にお願いさせていただきます。また、管理会条例第7条第3項に、管理会の議事は出席委員の過半数をもって決する、可否同数のときは、会長の決するところによる、とありますので宜しくお願いします。さらに、伊賀市自治基本条例第7条第3項等により、本会は公開とさせていただきます。議事録を作成し、ホームページに掲載して公開するために、議事内容を録音させていただきますことをご承諾ください。以上宜しくお願いしたいと思います。ここからの議事、進行につきましては、馬岡会長宜しくお願いいたします。
会長	はい。まず、会議次第5の会議録署名委員の指名について、松裏委員と山口委員を指名します。松裏委員と山口委員は、後日、議事録を確認いただき署名をお願いします。それでは、会議次第6の報告事項に入ります。(1)の財産区・管理会の概要について、事務局ご説明をお願いします。
事務局	財産区・管理会の概要を簡単に述べさせていただきます。資料No.1をお願いします。

	<p>資料1ページから6ページに、財産区管理会に関することを挙げています。大山田財産区は、地方自治法第294条第1項に基づき、伊賀市合併時に旧大山田村の村有林を財産として、大山田地域のために設けられています。財産区の管理会委員さんは、3地域から7名の方を推薦いただき、議会の議決を得て、選任しています。この管理会では、管理会条例等に基づき、財産区の運営に関する必要事項を決定していただいています。資料7ページ以降には、財産等に関することを挙げています。財産区の全面積は11ページのとおり、合計では181筆、台帳面積で約190ha余りを所有していて、その内、ほぼ62%にあたる約118haが保安林となっています。昨年度に区有林の長期整備計画を策定していただき、詳細を確認していただくため、お手元の冊子を作製しました。今後整備する計画表を15ページに載せていまして、来年度は奥間谷林班を整備する予定です。また、3ページには、財産区所有の林班を載せていて、10林班の内、7林班は実測済で、今年度は高良城林班を実施しています。山林の面積は、台帳面積と実測面積が大きく異なりますので、ご承知いただきたいと思えます。資料に戻っていただき、12ページには、区有林内に独立行政法人森林総合研究所と契約している分収契約地があり、詳細を載せています。分収契約地は、市から要望を行い、整備が必要な時期に、市が発注して整備を行いますが、経費はすべて後で研究所が支払い、立木を伐採した時の売買割合も契約書によって決められています。13ページと14ページは、貸付地を載せていて、有償で中部電力やNTT西日本、青山高原ウインドファームと契約しています。無償では、猿野区と市に貸付しています。区有林の管理ですが、9名の管理人さんにお世話になっていて、区有林の境界確認や台風等被害があった後の見廻り、境界確認や作業道の点検、整備などの維持管理について適正に行っていただいています。財産区の会計は、特別会計となっていて、収入は青山高原ウインドファーム株式会社が実施している風力発電事業に関する土地貸付収入約1千230万円余りが大きな財源を占めています。予算の収支等の詳細については、後ほど議事でご確認いただきますが、支出では1ページの下に挙げておりますとおり、平成21年度からいぶし瓦の常夜灯の電気代の一部を区に補助させていただいています。また、平成30年度からさるびの温泉にも予算の一部を繰出ししています。その他、詳細については、それぞれご確認いただければと思いますので宜しく願います。簡単ですが、概要については以上です。</p>
会長	ただいまの事務局の説明について、ご質問などはありませんか。
委員 管理人	なし
会長	ないようですので、次の(2)の管理人からの活動報告ということで、管理人さんを代表して森下管理人からご報告をいただきます。宜しく願います。
管理人	大山田財産区管理人の活動報告をさせていただきますので、資料No.2をお願いします。私が管理人として初めて関わらせていただいたのは6年ぐらい前で、その当時は、我々が立ち入ってここまでという境界は、はっきりしていませんでした。そのため、管理人が境界を全部歩いて、大山田財産区と示した看板を各箇所を立てさせていただき、現在に至っています。資料いちばん上にありますように、7月8日の第1回財産区管理会では、会議に出席してお話を聞かせていただきました。管理会の後、管理人が集

	<p>まって1年間の活動をどうしようかという話し合いを持たせていただきました。7月23日には、小木戸の重瀬という所で、昔は牧場をやっていた跡地ですが、現場は平らで良い所です。以前、太陽光でもしたらと提案させていただきましたが、却下されました。そういう状況で、毎年草を刈らせていただいています。それから、9月8日には、台風の後の林道見回りということで、奥馬野林班を点検させていただきました。9月26日には、下馬野林班内の家の近くに草が生えているということで、水路の除草、草刈りをさせていただきました。そして、看板が壊れていたの、立て直し作業もさせていただきました。10月16日は、作業計画についての打合せをさせていただきました。10月29日と11月25日には、西教林班の境界線を歩いて確認したのと、鹿除けとなるリンロンテープ巻き作業を行いました。40年から50年ほど経過している木なので、効果は少ないかも知れませんが、目立って鹿にやられている付近で作業を行いました。場所は、上がっていただくと、日中友好の森がある所で、その付近一帯が西教林班になります。報告については以上です。</p>
会長	<p>先ほど今年度の活動報告を説明いただきましたが、境界確認や看板の立て直し、草刈り作業等をいただき、1年間大変ご苦勞様でした。何かご質問やご意見などありませんか。</p>
委員	なし
会長	<p>ないようですので、次の会議次第7の議事に入らせていただきます。(1) 令和2年度補正予算(第1号)について、事務局ご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>2月議会に提出させていただきます、令和2年度伊賀市大山田財産区特別会計補正予算について、ご説明させていただきます。資料No.3をご覧ください。1ページの収入から補正する項目のみ、ご説明させていただきます。いちばん上の、第1款 財産収入 第1項 財産運用収入 第1目 財産貸付収入は、6千円を増額し、補正後は1千234万1千円です。NTT西日本株式会社の土地貸付料の増額分です。第2目 利子及び配当金は、5千円を増額し、補正後は4万8千円です。見込まれる基金利子による増額分です。その下の、第2項 財産売払収入 第1目 不動産売払収入では、新たに41万3千円を補正しています。奥馬野地内の区有林で県が急傾斜事業を行うため、区有林の土地売買代金及び立木補償の収入分です。第2款 繰越金 第2項 繰越金 第1目 繰越金は、277万6千円を増額し、補正後は297万6千円です。前年度繰越金による増額分です。第3款 諸収入 第1項 受託事業収入 第1目 水源林造成事業収入は、144万6千円を減額し、補正後は527万5千円です。事業実績による減額分です。続いて、2ページをお願いします。第2項 雑入 第1目 雑入では、新たに2万円を補正しています。今年度から会計年度任用職員制度となったため、管理人の労働災害保険を傷害保険に切替える必要があったことによる、保険料の還付分です。第4款 繰入金 第1項 繰入金 第1目 大山田財産区基金繰入金では、新たに181万円8千円を補正しています。シデノキ原線橋脚工事の負担金に関する繰入金です。歳入合計は、補正前の1千929万9千円に対して、359万2千円を増額し、補正後の予算額は2千289万1千円です。下の表に、土地貸付収入の詳細を付けております。続いて、歳出に移らせていただきますので、次の3ページをお願いします。第1款 総務費 第1項 総務管理費 第1目 一般管理費は、</p>

	<p>820万6千円を増額し、補正後は1千578万4千円です。補正する主なものは、自動車借上料が8万8千円の減額、補助金が85万円の減額、大山田財産区基金積立金が750万円の増額、一般会計繰出金が181万8千円の増額などです。新型コロナの影響により、視察研修などが中止となったことや台風の被害が少なかったことが原因で減額に至ったことと、そうした理由により例年に比べて支出が大きく減少したため、基金積立金が大幅の増額となっています。続きまして、4ページをご覧ください。</p> <p>第2款 財産費 第1項 財産管理費 第1目 財産管理費は、28万9千円を減額し、補正後は54万8千円です。主なものは、管理人の見廻り報償費が10万9千円の減額、材料費が10万円の減額、負担金が7万5千円の減額などです。被害が少なかったことや予定の研修会が中止になったことなどによる減額です。次に、下の表の</p> <p>第2項 財産造成費 第1目 財産区有林造成費 第1事業 財産区有林造成事業では、266万4千円を減額し、補正後は128万4千円です。補正する主なものは、管理人の作業員報償費が30万円の減額、その他委託料が26万7千円の減額、林道の改修工事費が203万3千円の減額です。被害が少なかったことや、予定していたシデノ木原線林道工事が今年度実施できなかったことなどによる減額です。続いて、最後の5ページをお願いします。第2項 財産造成費 第1目 財産区有林造成費 第2事業 水源林造成事業では、144万円6千円を減額し、補正後は527万5千円です。事業実績に伴う減額です。 第3款 公債費は1万5,000円を減額し、補正後は0円です。第4款 予備費も20万円減額し、補正後は0円です。以上、歳出合計は、359万2千円の増額で、補正後の予算額は2千289万1千円で、歳入合計といずれも同額です。今年度は幸いに、近年になく台風の直撃がなかった年で、例年に比べて全般的に支出も少なくなりました。また、新型コロナの影響で、計画していた視察研修や研修会に参加ができなかったことや前年度繰越金が300万円近く残っていたこと、シデノ木原線の林道工事が今年度実施できなかったことなどが原因して、結果的に基金積立金が例年に比べて大きく増額しました。以上で、令和2年度 伊賀市大山田財産区特別会計補正予算の説明を終わらせていただきます。</p>
会長	先ほど事務局から説明いただきましたが、何かご質問などありませんか。
管理人	シデノ木原線橋脚工事ですが、場所は奥馬野の奥ですか？
会長	詳しい場所は、奥馬野林道へ入って3つ目の橋を渡った場所を進むと、三差路になっていて、それを右のコンクリート舗装している右の方へ入った所になります。
管理人	来年度その橋の工事をしてもらおうということですか。
事務局	橋の工事は今年度です。
会長	先日から4トンのミキサー車で生コンを運び入れています。詳しい進捗状況までは分かりません。
管理人	橋の工事だけですか。
会長	橋が2箇所あり、その工事です。
管理人	橋から上の林道の崩れている所も工事に含まれますか。
支所長	橋だけです。今年度に林道工事の予算を計上していましたが、橋の工事が今年度までかかるため、橋の上部である林道工事までできませんでした。そのため、林道工事は次年度で予算を計上しています。

会長	収入の土地売買代金、立木補償代金ですが、場所はライトピアの横ですか。
事務局	はい
支所長	財産区が所有している土地が、急傾斜事業にかかっていたので、それを県が事業するのに売却いただけないかということになり、管理会で管理委員さんにご了解のうえ、契約させていただきました。現在、売払いはまだ終わっていない段階です。報告事項の資料No.1で財産区の財産状況を説明させていただきましたが、それはこの事業の売却前の数値です。面積は約580㎡で、1㎡当たり700円で土地を売却します。今後は、必要箇所を分筆して売却する形になります。
管理人	立木補償はいくらでしたか。
事務局	全部で7,870円です。
会長	工事にかかる場所に杉、ヒノキはほとんどありません。上部までかかればありますが、対象の場所はほとんどが雑木です。手前の川北寄りには樹齢が若いのがありますが。
会長	よろしいでしょうか。他にないようでしたら、次に、(2)のその他ですが、委員さん、管理人さんから何かありますか。
委員 管理人	なし
会長	ないようでしたら、事務局から何かありますか。
支所長	予算の関係ですが、市議会が6月と9月、12月の3回あり、今年は3月に市議会議員選挙があるため、1か月早まって2月に市議会があります。今回の場合は、補正予算というものの、時期的には年度末ですので、決算見込みになります。ご覧のとおり、補正で支出の減額が多いということは、あまり業務ができなかったということで、歳入歳出を同額にしなければいけないため、基金に積み立てることになります。それを将来の林道整備やその他必要な経費に充てることになり、大山田財産区は、基金がようやく約1億円余りになったので、しっかり貯めて有効に使いたいと考えています。シデノ木原橋脚工事ですが、当初、市から財産区の全額負担という話がありました。しかし、橋脚を利用するのは財産区だけでないということで、10分の1の180万円余りを財産区が負担して、残りを市が負担するという事に決まりました。
委員	来年、大山田支所はなくなるのですか。
支所長	令和4年度の4月から支所再編ということで、まだ協議中ですが、現在想定しているのは、今5つ支所がありますが、大山田と島ヶ原は、上野の本庁で中部振興センターとして業務を行う計画です。阿山と伊賀は北部振興センターで、青山と上野南部を南部振興センターで業務を行うことを考えています。実際、無くなってしまって、大山田と島ヶ原は距離があるということで、支所をなくすということはどうかということで、ご意見をいただいています。中部になったとしても、改善センターは残りますので、この施設は使っていただけます。この施設は、昭和57年に建設され、40年以上経過しますが、耐用年数は残っており、まだ使用できます。
管理人	支所がなくなれば、財産区の予算が市に吸い上げられることにならないのですか。
支所長	特別会計であり、市が勝手に持っていくということにはできないことになっています。議会で承諾を得られないことにはできないし、基金を勝手に持っていくことは簡単に

	はできません。また、さるびの温泉にも財産区の会計から補助していますが、来年度をもって市から手を離れて公社にお願いする予定です。そうなれば、民間企業ということになるため、これまで通り、財産区からさるびの温泉に補助を出すことはできなくなります。温泉も今、新型コロナの影響で大きな打撃を受けていて、困っている状況です。
委員	初めてで分からないのでお聞きしますが、管理委員と管理人がありますが、管理委員は現場に行かないのですか？
管理人 会長	現場での点検や作業は管理人が行います。本日の会議のように、財産区の運営に関する決定等の審議を委員が行います。
会長	私からのお願いですが、今、新型コロナの影響で活動を自粛していますが、落ち着けば、管理人さんだけでなく、委員さんもどこに財産区の山があるか知っていただくため、事務局で設定いただき、車で案内していただきたいです。そして、ここはどこの林班かぐらいは覚えておいていただきたいと思います。ほとんどの方は、ここがどこの山か知らないと思います。全林班の境界を把握するのは広範囲に及び、無理だと思いますので、車で行ける所まで行って、そこから歩いて各林班を把握いただける程度で結構かと思います。
管理人	財産区の各林班は相当広いです。
会長	他にないようでしたら、議事を終了させていただきます。事務局にお返しいたします。
課長	馬岡会長、議事進行有難うございました。以上をもちまして、令和2年度第3回伊賀市大山田財産区管理会を閉会させていただきます。皆様どうも有難うございました。
全員	有難うございました。

会議録署名者

大山田財産区管理会 会長 印

大山田財産区管理会 委員 印

大山田財産区管理会 委員 印